



原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和5年

4月12日(水)

印西市立原小学校

校長室便り

〈第1号〉

本日の入学式で236名の元気な新入生を迎え、児童数1,181名、学級数41学級、そして教職員数71名で令和5年度をスタートしました。

子どもたち一人一人のもつ、無限の可能性を発見し、引き出し、輝かせるよう、職員一同、全力を挙げて取り組んで参ります。これまで同様、保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

「すべては子どもたちのために」を経営の柱とし、今年度の経営方針を以下のように決めました。

＜学校教育目標＞

人間性豊かな、考え行動できる心身ともにたくましい子どもの育成
～ 自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子 ～



＜めざす学校像＞

- ◇ 子どもの笑顔が輝く学校
- ◇ 保護者や地域から愛され信頼される学校
- ◇ 子どもや教職員が誇りに思える学校



＜めざす児童像＞

- ◇ 考え行動できる子 ～確かな学力～
 - ・自ら考え、判断し、解決したことを、自分の言葉で表現できる子
 - ・学習習慣が身に付き、自ら進んで学ぶ子
- ◇ 思いやりのある子 ～豊かな心～
 - ・明るく元気なあいさつと、場に応じて礼儀正しく行動する子
 - ・人との違いを認め、誰とでも仲良くできる子
- ◇ たくましい子 ～丈夫でたくましい子～
 - ・困難から逃げず、最後まであきらめずに挑戦する子
 - ・自分の身体に関心を持ち、進んで身体をきたえる子



「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」により、全ての公立学校等において、障害のある幼児児童生徒へ必要に応じて合理的配慮を提供することが義務化されています。合理的配慮については、一人一人の障害の状況や基礎的環境整備の進捗状況を考慮して提供されます。実際の学校生活の中で、合理的配慮の提供についてご相談したいことがあれば、学級担任までご連絡ください。

印西市には「特別支援教育就学奨励費支給制度」というものがあります。これは、たんぼほ学級、こすもす学級、ひまわり学級、つばき学級、さくら学級、すみれ学級、しらゆり学級に在籍する児童以外でも対象となる場合があります。視覚や聴覚に障害がある方、肢体不自由や病弱な方、身体障害者手帳や療育手帳、小児慢性特定疾患医療受診券等を交付されている方などが利用できます。詳しくお知りになりたい方は、学級担任までご連絡ください。

以下は、先週の始業式で私が話した内容の一部です。

今年度は、全部の学年でクラス替えを行いました。今日から、あまり話したことがない友達に声をかけて、良いところを一つでも多く発見して、仲良くなってほしいと思います。また、どんな時も、どんな友達にも、優しくしてください。みんながそうしていけば、原小学校は、ずっと優しさ溢れる素敵な学校であり続け、一人一人が幸せな気持ちで生活できます。そして、優しい人の周りには、優しい人たちが集まります。

原小全員が、明るく楽しく学校生活が送れるよう、先生たちも頑張ります。みんなで力をあわせて、原小学校がもっともっと素晴らしい学校になるよう、頑張っていきましょう！